

## 新たな非営利法人のスタートにあたって

4月1日、大阪市教員会館は監督官庁の認可を受け、新しい非営利法人として一般財団法人に移行、新しいスタートを切りました。認可された公益目的の継続事業として、50年を超える伝統ある児童・生徒作品展の開催や、市民ギャラリーの充実、法円坂教育青年文庫等があり、さらにこれらの実績を踏まえ、事業を昨年度より大阪市民教育研究所として再編し、より拡充させることなどを実施する事業の重要な柱としています。

さらに今年6月には、昭和28年の財団設立から60周年を迎えます。また、昭和58年のパル法円坂落成から30周年、平成22年のアネックスパル法円坂開業から3周年、大阪市民教育研究所発足1周年の記念の年となります。今後、新しい教員会館はこれらの伝統を引き継ぎつつも、時代の変化に対応しながら、教育者や青年の持つ自主独立の精神をもって事業を進めていきます。

私たちを取り巻く環境は好転しつつあるといわれていますが、まだまだ世相は厳しいものがあります。そのような中、“ほっ”とする空間としてのパル法円坂、アネックスパル法円坂(大阪市教育会館)の果たす役割はより大きくなっています

また、新法人移行を踏まえ、これまで行ってきた公益事業、文化・厚生事業などを新たに再編、特に継続公益目的事業である大阪市民教育研究所事業を重点に、財団事業をより一層充実させることが求められています。さらに、相次いで公共会館が廃止される中、大阪の中心、法円坂にある教育と青年の会館・アネックスパル法円坂(旧中央青年センター)における教育青年団体支援の事業を、開業して3年間の経験を踏まえ、より発展させなければなりません。

皆様もご承知の通り、大阪市教員会館は自立した非営利法人であり、一切の公的な補助金などの支援を受けていません。これらの財団事業を継続する為にも、これまで財団を支援していただきました教職員、教育関係者、市民の皆様と、施設御利用者の皆様により一層のご助力が不可欠です。新しい大阪市教員会館は、御利用者の皆様とともに、新しい時代の公益事業を創造して行きたいと考えています。一般財団法人大阪市教員会館のスタートにあたり、改めまして、御利用者の皆様にご支援をお願い申し上げます。

平成25年(2013年)4月1日  
一般財団法人大阪市教員会館  
代表理事 理事長 田中孝治  
業務執行理事 専務理事 平沢保人